



就任のごあいさつ

おだぎ まさよ
高萩市長 小田木 真代

このたび、市民の皆様への負託をいただき、市政を担うこととなりました。県議会議員から、より市民の皆様に近い市長へと立場を替え、これまで培った経験、知識、人脈などを最大限活かして、まごころと情熱を込めて、生まれ育った高萩市に恩返しをしたいと思っております。

高萩市においては、県北の他の市町同様に人口の減少や少子高齢化の更なる進行が課題であることはもちろん、駅前活性化、高萩協同病院や日本加工製紙の跡地活用などにも取り組んでいかなければなりません。また、消防や救急指令など広域的な行政運営は不可欠であり、周辺市との連携を図っていく必要があります。

地方分権が進展する中、これらの課題を一つひとつ解決しながら、高萩市を復興させ、新たな価値をもった地域づくりが私に課せられた使命であり、その大変重い責任に改めて身の引き締まる思いであります。

行政運営については、「市民のために、市民とともに」を基本理念として、責任ある行政を進めてまいります。

主な施策としては、「安全な」「安心な」「活力ある」街づくりの3つの柱を考えております。

第一に、大震災からの復興と防災対策を確実に進め、様々な

愛する郷土たかはぎ発展のために ～「安全な」「安心な」「活力ある」街づくり～

災害にも強い街、また通学路の安全対策や学校の耐震化を進め、子どもにも「安全な」街を造ってまいります。

次に、若い世代の方々が生活も子育てもしやすい環境を整え、また高齢者や障害のある方々も暮らしやすいと感じることができ「安心な」街にしていきたいと考えております。

また、市内中小企業への支援や新たな企業等の誘致により働く場を確保するとともに、自然、歴史を活かした観光やロケ地誘致などにより交流人口を拡大し、「活力ある」街への再興を図ってまいります。

なお、指定廃棄物の最終処分場については、国の責任において安全対策を十分に講じたうえで、当分の間、現在の場所に保管することが適当ではないかと考えております。今後、環境省のアンケート調査が予定されていることから、市町村の意見を踏まえながら適切に判断していきたいと思っております。

議会と執行部は車の両輪と例えられるとおり、一緒になり街づくりを進めていくことが重要であります。このため、市民の代表である議員の皆様とも十分に議論を進め、これらの政策の実現に全力で取り組んでまいります。

小田木真代市長の略歴

昭和38年2月23日生まれ。日本大学理工学部薬学科卒業。薬剤師国家試験合格。平成11年茨城県議会議員初当選後、4期15年務め、文教治安委員会委員長、保健福祉委員会委員長、議会運営委員会委員長、決算特別委員会委員長などを務める。安良川在住



2 3 高萩市シルバーリハビリ体操指導士会に「交通安全アドバイザー」を委嘱

高齢者の交通事故防止の一貫として、高萩警察署は、高齢者の運動指導をしている高萩市シルバーリハビリ体操指導士会の51人に「交通安全アドバイザー」を委嘱しました。交通安全アドバイザーとは高齢者の交通安全意識の高揚を図るために設置するもので、指導士らが日頃の体操指導の中で交通安全に関するアドバイスを盛り込んでもらいます。総合福祉センターで行われた委嘱状交付式で河野高萩警察署長は「交通事故はいつ、どこで起こるか分かりません。日頃から高齢者に接する機会が多い皆さんが、交通安全アドバイザーとして、交通事故防止を呼び掛けてくれることはとても心強い」と挨拶。高萩市シルバーリハビリ体操指導士会会長の道上俊夫さんは「交通事故防止に関する呼びかけ



は今までもしてきましたが、より一層力をいれ、安全な高萩にしていきたい」と意気込みを語りました。

2 5 いばらきコープ生活協同組合から映画「天心」チケットを受贈

いばらきコープ生活協同組合（代表理事 佐藤洋一さん）より、岡倉天心をテーマとした映画「天心」のチケット100枚を受贈しました。同組合と市では「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」及び「子どもと要援護者見守り訪問事業協力に関する協定」を締結しています。協定内容の他にもさまざまなご協力を頂いているところです。市では、今回頂戴するチケットをいばらきコープ様のご意向により、市内の応急仮設住宅を利用している被災者や福島からの原発避難者の皆さんの希望者に配布させていただきます。



いばらきコープ生活共同組合 組合員理事 千葉京子さん（写真右）と小島隆史副市長

1 27 穂積家住宅で「文化財防火デー」訓練

第60回文化財防火デーにちなみ、県指定文化財の穂積家住宅で消火訓練が行われ、教育委員会職員、消防署員など約20人が参加しました。訓練は穂積家住宅の母屋から出火したと想定。来場者の避難誘導、119番通報、消防車が駆けつけ放水するなど一連の流れを実践しました。その後、関係職員が水消火器などを使った初期消火訓練を行い、文化財保護の意識を高めました。



1 25 國井美香リサイタル ～愛と希望～開催

イタリアを拠点に活躍しているコントラルト歌手の國井美香さんのリサイタルが、文化会館で開かれました。リサイタルは、高萩市制施行60周年記念事業の幕開けイベント第1弾として開催。約550人の聴衆が國井さんの優しく包み込む暖かい歌声に聞き入っていました。國井さんは、児玉さや佳さんのピアノ伴奏に合わせて約2時間にわたり熱唱。高萩市出身の豊田晃生サクソフォン奏者、市内中学校吹奏楽部74人と共演するなど、子どもから大人までが楽しめるリサイタルでした。また、イタリアで募った東日本大震災への支援金を高萩市へ贈呈いただきました。



1月31日には、國井美香さんと夫で音楽監督を務めるイタリア人のアントニオ・モッチャさんが、松岡中学校を訪れ1年生65人に音楽の指導を行いました。指導を受けた生徒の稲野邊翔さんは「迫力ある声とビブラートにとっても驚きました。今回教えて頂いたポイントを参考にしっかりと練習していきたい」と笑顔で話してくれました。また、発声指導終了後に行われた講演では、歌手になるまでの生い立ちなどを話され、生徒たちからは、簡単なイタリア語を教えてくださいなど沢山の質問が飛び交っていました。



松岡中学校生徒に歌唱指導をする國井美香さんとアントニオ・モッチャさん